

社会科シラバス 高校3年

1. 学習の到達目標と評価の観点

(科目) 世界史演習	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
	3 単位	第 3 学年	・『世界史 基礎問題精講』旺文社（教科書） ・『大学入学共通テスト世界史トレーニング問題集』山川出版社（補助教材）
学習の到達目標	・史資料の読み取りを通して真理を追究していこうとする姿勢や、得られた知識・技能を実社会に結びつけ、役立てようとする意欲を養う。 ・世界史の知識をもとに、現代世界を俯瞰する視点と地域の問題を掘り下げて把握するローカルな視点を併せ持つ柔軟な思考力を養う。また、それに関する自分の考えや価値観を発信できるとともに、社会の中で自身に求められている役割を認識する。 ・現在世界各地で起きている問題を歴史的・論理的な視点から読み解く探究心、その解決策を考える思考力、実行するために他者の意見を尊重しながら協働できる人間性を育む。		
評価の観点	授業に前向きに取り組み、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞ 世界の歴史を学びながら、それぞれの出来事を比べたり、複数地域のつながりや影響を探究し、自分の考えを発信することができる。項目をただ暗記するのではなく、「原因→経過→結果」という因果関係をつかむことで、社会を動かす躍動感を体感する力をつける。＜思考力・判断力・表現力＞ 諸課題の形成過程について考察したり、資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞		

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

- A：「十分満足できる」状況と判断されるもの
- B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- C：「努力を要する」状況と判断されるもの
- D：未提出，未実施

2.学習内容及び評価方法

時期	単元	学習のねらい・到達目標
1 学期 中間まで	古代諸地域 中国史（古代～清帝国）	・問題演習を通して、既習範囲を復習する。 ・高校 2 年次に学習した古代諸地域の成立までの流れを理解し、説明できる。
1 学期 期末まで	イスラーム世界の成立と発展 イスラーム世界の伝播 中世ヨーロッパ 近世ヨーロッパ	・問題演習を通して、高校 2 年次に学習したイスラーム世界の広がり、ヨーロッパにおける中世～近世までの流れを復習し、説明できる。
2 学期 中間まで	近代ヨーロッパ	・近世から近代におけるヨーロッパの時代の流れを復習・理解し、説明できる。
2 学期 期末 まで	中国史（アヘン・アロー戦争） 帝国主義 第一次世界大戦 世界恐慌とファシズム 第二次世界大戦と戦後世界	・近現代にかけての流れを理解し、説明できる。 ・第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし、20 世紀の変動の機転となったことを理解する。 ・第一次世界大戦の帝国主義諸国間の覇権争いとしての性格、経過と影響に関する基本的な知識を身につけている。
評価の観点及び内容		評価方法（具体例）
学習範囲を主体的に予習している。＜主体性＞		週 1 回の小テストへの取り組み
データや史資料を適切に読み取り、設定された課題に対する答えを、他者にも読み取れるように適切に説明することができる。＜思考力・判断力・表現力＞		授業内試験・課題への取り組み
歴史的な知識を身につけられている。＜知識・技能＞		授業内試験